

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（交通施設：前辻小野原線）整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	九重町大字松木						
補助事業の成果の目標	<p>本路線は町道前辻線との交差点を起点、町道竜門甘川水線との交差点を終点としており、前辻集落の生活道路として重要な路線であるが、現道幅員が狭く、視距が悪いことから車両の通行に支障を来している。</p> <p>このため、道路改良工事を実施し、道路整備を行うことで、交通の円滑化と住民の利便性の向上を図ることを目的とする。</p>						
補助事業の内容	道路改良工事 延長L=120.0m						
補助事業の始期及び終期	平成26年度から令和元年度						
事業費及び交付金額		平成26年度	平成27年度	平成28年度	令和元年度		計
	事業費	円 3,132,000	円 680,400	円 18,511,200	円 17,825,500	円	円 40,149,100
	交付金額	3,076,000	200,000	16,762,000	16,000,000		36,038,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>事業完了後、地域住民にアンケートを実施したところ、9割以上の方から生活の利便性が向上したとの回答が得られ、事業の効果を確認することができた。</p> <p>また、工事看板及び広報誌（令和2年5月号）に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で実施されている旨を記載し、地元説明会を開催し周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（環境衛生施設：ごみ収集車）整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	玖珠郡九重町大字松木4385番地57						
補助事業の成果の目標	平成22年度に整備したごみ収集車が、本年度で約9年経過し、走行距離も20万kmを超えている。車輻には劣化や故障が発生しているため、今後、安定的なごみ収集業務に支障をきたすことが考えられる。 このことから、車輻を更新することで、ごみ収集運搬計画に沿ったごみ収集業務を安定的に行い、衛生的な生活環境の保持に寄与することを目標とする。						
補助事業の内容	物件購入 ごみ収集車（4t車） 1台						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和 元年度					計
	事業費	円 11,990,000	円	円	円	円	円 11,990,000
	交付金額	円 11,000,000					円 11,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	ごみ収集車の更新後、収集運搬計画に沿ったごみ収集業務が滞りなく行われていることを業務報告等から確認しており、衛生的な生活環境が保持されていると評価する。 地域住民への周知については、ごみ収集車に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」である旨を記載し広報紙及び町ホームページにより周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設(教育文化施設：東飯田公民館(周辺整備))整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	九重町大字恵良						
補助事業の成果の目標	新しい施設においては、多様化する利用形態に対応し、効率的に利用できるよう、また、地域のコミュニティや子育て支援の拠点として整備し利用の促進を図る。						
補助事業の内容	駐車場 A=2,140㎡						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		元年度					計
	事業費	20,581,000					20,581,000
	交付金額	20,000,000					20,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>利用者からアンケートで意見を集約したところ、「利用し易くなった」、「枠が表示され駐車し易くなった」、「利用回数が増えた」といった意見が寄せられており、公民館敷地駐車場の舗装が完了したことで、利便性が格段に向上し、地域コミュニティの活性化に寄与していると評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施方法】</p> <p>工事中の看板及び敷地内工作物に、特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省)の事業で実施した旨、表記した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設(教育文化施設：田尻集会所)整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	九重町大字松木3065番1						
補助事業の成果の目標	現集会所は、築29年を経過し、内外装や基礎の老朽化が目立つ。また、本地域は高齢者を多く抱えており、トイレをはじめ使い勝手の悪い仕様となっている。施設の建て替えを行い、高齢者が使いやすいバリアフリー化を施したい。加えて、隣接する2地区との合同会議を地理的に中央に位置する本集会所で行っており、多人数が利用できるよう、大集会室は大広間とするなど、教育文化施設としての機能の充実を図り、住民の利便に供するとともに地域コミュニティ活動の拠点として地域の活性化を促進する。						
補助事業の内容	新築工事 木造平家建 A=139.94m ²						
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和元年度						
事業費及び交付金額		30年度	元年度				計
	事業費	5,346,000	29,297,400				34,643,400
	交付金額	4,000,000	28,598,000				32,598,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 施設管理者より、「広い集会室ができ、利用の仕方に幅ができた」、「スロープの設置で、足の弱い高齢者の利用が容易になった」、「広い調理室ができ、地域のイベントを行う際の大人数での利用や、有事の際の炊き出し、料理教室の開催など、今後いろいろな活用が期待される」との報告を受け、住民の利便性に供することができた。</p> <p>【地域住民への周知の実施方法】 地元住民への説明会の際に口頭での周知。 九重町の広報誌への掲載(令和元年6月号、令和2年5月号)。 工事中の看板への掲載、建物への記載を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共施設（教育文化施設：九重町コミュニティセンター屋根改修）整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	九重町大字田野 2 0 4 番地の 1						
補助事業の成果の目標	現施設は、築 3 8 年を経過し、屋根の一部が剥がれ落ちる等、老朽化が目立ち危険な状況である。屋根の改修事業を行うことで、利用者の安全を確保し、安心して町民等の教養向上、生活改善、福祉の向上その他レクリエーションのために利用し地域の活性化を促進する。						
補助事業の内容	屋根改修工事（A=523 m ² ）						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		元年度					計
	事業費	14,346,200					14,346,200
	交付金額	14,000,000					14,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>施設管理者及び職員アンケート調査を行ったところ、安全性が確保され、利便性が向上したとの回答が得られ、施設の利用による地域の活性化に資することができた。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中の立看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業（防衛省）である旨を記載した。 ・ 九重町の広報誌で特定防衛施設周辺整備調整交付金事業（防衛省）である旨を記載した。 ・ 建物に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業（防衛省）である旨を記載した。 						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際して第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（医療施設：自動体外式除細動器）整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	玖珠郡九重町内						
補助事業の成果の目標	<p>九重町の町有施設における自動体外式除細動器(AED)は、救急車が到着するまでの間の心肺停止状態における死亡率低下を図るため、住民が多く利用する公共施設・学校等に設置されており、地域住民の安全安心確保に貢献している。</p> <p>しかし、既設のAEDについては、耐用年数が経過しているものがあるほか、施設の新設等によりAEDが設置されていない施設も多い状況である。</p> <p>今回30台のAEDを整備することでより一層、住民の救急時における安全安心の確保につなげる。</p>						
補助事業の内容	物件購入 自動体外式除細動器(AEDセット一式) 30台						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 11,534,400	円	円	円	円	円 11,534,400
	交付金額	円 9,000,000					円 9,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施によりAEDが多くの公共施設等に設置され、住民の安心安全の確保に寄与することができた。また、AED設置後、各施設管理者に対して意見聴取したところ、実際に使用した施設は無かったが、更新を行った施設は、既設の機器と比較し、小型化・軽量化したことにより不測の事態の使用を想定した場合に利便性が向上したなどの意見があった。新たに設置を行った施設については、不測の事態が発生した時に備えて安心感が得られたとの回答を得た。</p> <p>地域住民への周知については、九重ケーブルテレビや施設関係者への説明会実施時において特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることの周知を行ったほか、AED本体カバーに特定防衛施設周辺整備調整交付金事業と記載したタグを付け周知を行っている。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（消防に関する施設：小型動力ポンプ付積載車）整備事業						
補助事業者名	九重町長						
実施場所	九重町大字後野上、大字田野						
補助事業の成果の目標	<p>本町の消防団は全30部で構成され、それぞれの部が格納庫に消防タンク車、消防ポンプ車もしくは、小型動力ポンプ付積載車を保有し管理を行っている。これらの装備については、火災はもちろん荒天時の出動、各種警戒のためのパトロール等に活用され、地域住民の安全安心確保に貢献している。</p> <p>これらの消防車両は、緊急時により高い性能を求められることから、経年劣化が著しい20年以上経過した車両を随時、更新を図っていくことで消防設備の維持を図り、地域住民の生命、財産、安全を確保する。</p>						
補助事業の内容	小型動力ポンプ付積載車 3台						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 17,567,000	円	円	円	円	円 17,567,000
	交付金額	17,000,000					17,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	消防団員へのアンケート調査を行い、「ポンプの利便性が向上した」「車両の小回りが利くようになった」等の意見が得られた。また、訓練の結果、災害現場への到着時間や火点への放水開始時間が短縮され、地域住民の安全安心に寄与することができた。車両への「防衛省 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」の記載や、九重町の広報誌及び広報番組での事業の紹介により地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業:九重町園児送迎バス運営基金)							
補助事業者名	九重町長							
実施場所	このえみつばこども園(九重町大字後野上8番地の1)							
補助事業の成果の目標	<p>このえみつばこども園は、町内3地区(東飯田・野上・南山田)の3つの保育園と3つの幼稚園を統合して、幼保連携型認定こども園として平成28年4月に開園した。</p> <p>このこども園に通う園児の通園方法について、園児送迎バスにより送迎を行っており、創設した運営基金を活用し、安心かつ安全な通園支援を継続的にやっていくことを目標とする。</p>							
補助事業の内容	園児送迎バス運営経費負担							
補助事業の始期及び終期	平成29年度～令和5年度							
事業費及び交付金額		平成 29 年度	令和 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度		計	
	事業費	円 -	円 301,499	円 11,688,820	円		円 11,990,319	
	基金 造成 成額	交付金額	28,000,000	0	0			28,000,000
		市町村費等	0	0	0			0
		運用益		28,001	27,904			55,905
		計	28,000,000	28,001	27,904			28,055,905
	基金処分額		200,000	6,000,000			6,200,000	
基金残額	28,000,000	27,828,001	21,855,905			21,855,905		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>常時、運行日誌等により確認を行っているが、事故や不具合もなく、園児送迎に際し安全かつ安心な通園支援が実現している。</p> <p>地域住民への周知等については、本事業は防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金を原資とする基金により運営されている事を町広報により周知している。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							